

「KYOTO 地球環境の殿堂・国際会議」について

【担当省庁】環境省

これまで、COP3の開催地として、地球環境問題の解決に向けたメッセージを京都から世界に向けて広く発信してきた「KYOTO 地球環境の殿堂・国際会議」について、関西に世界的な注目が集まる「2025年大阪・関西万博」開催の機会を捉え、多くの市民、特に未来を担う若者を巻き込み、行動変容を促す一大イベントとして開催するため、以下の支援等をいただきたい。

〔「KYOTO 地球環境の殿堂」の殿堂入り者による拡大会議への支援〕

「KYOTO 地球環境の殿堂」の過去の殿堂入り者等が参加し、地球環境問題について議論する国際会議の開催にあたり、国として積極的な関与、及び参加者招へいに要する支援や広報への協力

〔京都1200年の歴史を体験する文化×自然環境ワークショップへの支援〕

日本古来の文学には自然が題材とされたものが多いが、これは世界的に見ても日本独自のことであり、京都府内における神社仏閣や文学をはじめとした、歴史や文化が自然環境と密接に関係していることによるものであることから、京都の独自性を体験するワークショップの開催に対する支援

【現状・課題等】

- 「KYOTO 地球環境の殿堂」は、世界で地球環境の保全に多大な貢献をした方の功績を永く後世にわたって称えるもので、これまでに33名・1団体が殿堂入りしている。過去の殿堂入り者は、後にノーベル賞を受賞した真鍋叔郎氏をはじめ、著名な方々が多い。
- 「KYOTO 地球環境の殿堂」の主催者である運営協議会には環境省が構成団体に加わっており、環境大臣は運営協議会の名誉会長に就任いただいている。
※運営協議会構成団体：京都府、京都市、京都商工会議所、環境省、総合地球環境学研究所、国立京都国際会館、国際高等研究所
- 2025大阪・関西万博におけるテーマウィークとして、「地球の未来と生物多様性ウィーク」（9/17（水）～9/28（日））が設定されており、その期間中に本国際会議を開催することにより、万博との相乗効果を図るとともに、京都、そして日本の地球環境問題への取組姿勢を強力に世界へ発信する。

京 都 府 の担当課	総合政策環境部 脱炭素社会推進課 (075-414-4830)
---------------	---------------------------------

【国の事業等】

- 「デコ活関係予算」環境教育・ESD 推進事業〔環境省〕 3 億円
- 「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業〔環境省〕 38 億円
- 脱炭素社会の実現に向けた取組・施策等に関する情報発信事業〔環境省〕 4 億円

【京都府の取組】

- 環境京都発信事業 6 百万円



令和2年2月の「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式において、西脇京都府知事が2050年までのカーボンニュートラルを宣言